

中国空軍が雲南省及び四川省の航空作戦基地を強化

漢和防務評論 20130822 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

前回のメールで、中印国境紛争に関して中国の挑発が続いているとの漢和防務評論の記事を紹介しました。

今回は中国の対印、対越作戦のための航空作戦基地建設に関する漢和の記事を紹介します。

前回の記事で対印航空作戦においては、中国が不利な状況にあると述べましたが、中国はその不利点を解消すべく、雲南省、四川省において、軍用、民用を問わず飛行場の新設、拡張を促進しています。

夫々の省にとって、国家の経済成長率ノルマ達成のためには、飛行場のインフラ整備は願ってもない事業であり、国策に合致し一石二鳥とも言えますが、やみくもに飛行場を造っただけでは経済効果を生み出すわけではないので、衛星写真を見ると、造っただけで使われず、放置してあるような地方の飛行場があります。

KDR 編集部特電：

中国空軍は、雲南省及び四川省にある多くの民用飛行場を拡張し軍民共用にしつつある。その目的は、両省の航空戦力を強化するためであろう。また重慶及び昆明に新たな国際空港を建設し、元の軍民共用飛行場を軍専用飛行場に戻した。これらの動きを本誌は、インド及びベトナムに対する作戦準備の一環と見ている。

雲南省における中国空軍の主要飛行場は、当然航空兵第 44 師団が駐屯する陸良及び蒙自飛行場であり、前者には J-10A 型戦闘機が 1 個連隊、後者では J-7/J-6 から J-8 II 型戦闘機への換装が始まった。中印国境東段までの距離は、それぞれ 850 KM、935 KM であり、戦時、前方基地に展開する必要がある。たとえ SU-27/J-11 型戦闘機を使用したとしても、東段国境到達後、戦闘できる時間は短い。この東段までの距離は直線距離であってミャンマー上空を通過できた場合の距離である。ミャンマー上空を通過できない場合はさらに飛行距離が延びる。

雲南省昆明市の WUJIABA 飛行場は、元来軍用飛行場であった。現在新たに長

水国際空港が建設された。一旦需要があれば WUJIABA 飛行場は、再び軍用飛行場に転用される。

四川地区では、飛行場建設がさらに拡大し充実が図られている。対インド作戦において最も重要な長距離戦闘機の飛行場は、当然航空兵第 33 師団の駐屯する重慶市大足及び白市駅飛行場である。戦時、これらの飛行場は SU-30MKI の攻撃を受ける可能性が極めて高い。しかし翻って考えると、これら飛行場は西南地区でインドに最も近い SU-27、J-11 型長距離戦闘機の飛行場であり、SU-27、J-11 ならばインド東部の 2 大空軍基地に対して空襲可能である。しかし注意すべきことは対地攻撃用の J-16 型多用途戦闘機 (SU-30MK2 のコピー版) に換装しなければならない。なぜなら SU-27SK 及び J-11A 戦闘機は航空優勢獲得用の戦闘機であるからだ。

江北飛行場を再度拡張したので、元の白市駅飛行場は軍専用に使えるようになった。この飛行場はインド東段国境までの距離が 1000 KM である。大足飛行場は東段国境までの距離が 900 KM である。その他の大型軍用飛行場には重慶市梁平飛行場がある。同飛行場は現在整備中である。これらの第 2 線飛行場の最大の弱点は、たとえ第 3 世代の長距離戦闘機を使用したとしても、900 乃至 1000 KM と国境までの距離が遠いだけでなく、東段地区の増援しかできないことである。

インド空軍に関して、本誌の計算は、国境から縦深 300 km 範囲内の戦術飛行場のみを考慮しており、第 2 線飛行場は計算に入れていない。一旦航空優勢を獲得すれば、いずれの国であっても航空優勢を獲得した方が地上戦の主導権を獲得する可能性が高い。双方の第 2 線、第 3 線飛行場が国境地区から遠距離である不利点は、空中給油機によって補うことが出来る。これはインドや中国のように懐の深い、縦深の長い大国のみが有する利点である。同時にまた国土防空に空中給油機が必要となる理由にもなる。空中給油機は、戦闘機の滞空時間を延伸することが出来る。したがってインド中部の PUNE (SU-30MKI の主要基地)、四川省の大足、白寺駅、雲南省の陸良を離陸した SU シリーズ戦闘機及び J-10A は、往復の間 2 回空中給油することにより滞空時間を延長することが出来る。同時に前沿飛行場に依存する必要が無くなる。唯一の問題点は、パイロットの疲労度が高まることだ。この方面はインドが有利である。一旦空戦から離脱した後、帰投する間は自国の領土縦深である。これは、中国が空軍第 4 輸送機師団を強化する一つの理由であり、四川省 GONGNAI 基地に空中給油機を配備する可能性を指摘する理由でもある。 以上